

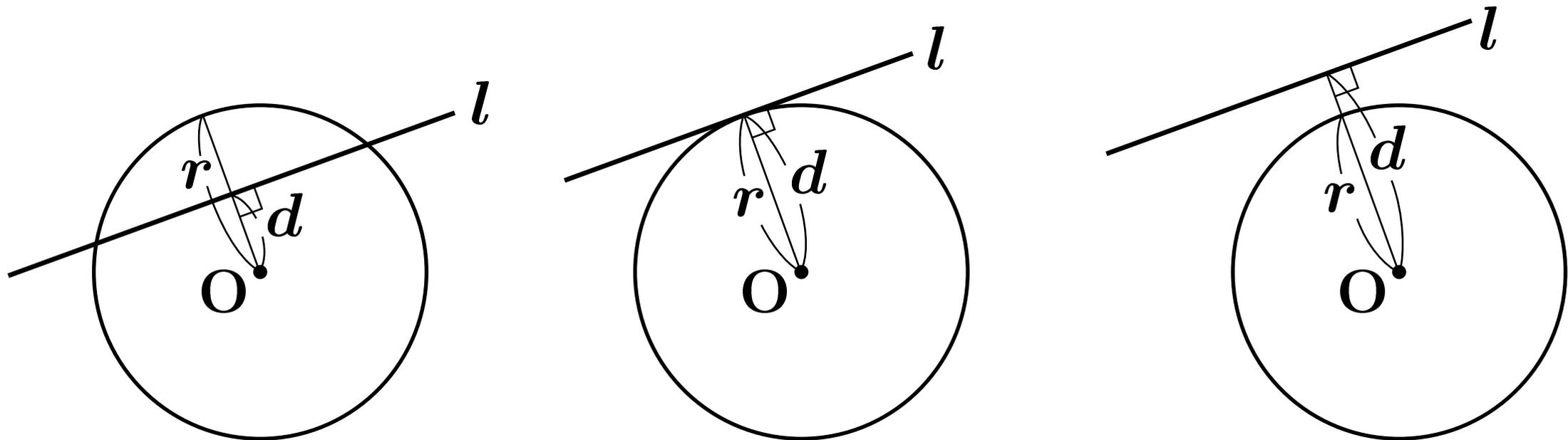
18. 円と直線の位置関係

hm2-3-18

(pdf ファイル)

円と直線の共有点の個数(2)

円と直線の共有点の個数は、**円の中心と直線との距離 d** と **円の半径 r** の大小関係によって判別することもできる。



例題

円 $x^2 + y^2 = 1$ と直線 $y = x + k$ が異なる2点で交わるような定数 k の値の範囲を求めよ.

